



2023-2024年度
鈴木 司郎 会長



奉仕プロジェクト委員会
高梨 正章 委員長



クラブ管理運営委員会
若林 智次 委員長



戦略専門委員会
小平 和広 副委員長



会場監督委員会
大浦 英樹 委員長



プログラム委員会
相田日出夫 委員長



広報情報委員会
福島 悟 委員長



親睦活動委員会
山村 義美 副委員長

クラブ協議会

2023-24年度 各委員会より
1年間の活動計画が発表された

来訪 吉野 徹 第6グループガバナー補佐



1950年に創設されて以来、ロータリーの役割は、ロータリアンの人生において、地域社会において、そして世界において、絶えず進化してきました。

ロータリーの初期においては、親睦と友情を深めながら、地域社会で人びととの「つながり」を築く方法を提供してきました。ほどなくして、ロータリーに「奉仕」という概念が芽生え、組織の成長とともにロータリーの影響も大きくなっていきました。その後ロータリー財団の支えもあって、ロータリーの奉仕は、世界中の人びとの生活を変えていく力を持つようになりまし。友情だけでなく、人助けのために行動する方法を求めて、そして、そのことを通じて自分自身も成長することを求めて、多くの人がロータリーに集うようになりました。ロータリーの奉仕は、人びとの人生、地域社会、そして世界を変えてきました。

ロータリアン一人ひとりが、自らが関わっているロータリー活動について、それぞれの立場で、そのロータリー的意味を考え、学び、大いに語り合ってみましょう。

その際のキーワードは「奉仕の理念」です。ロータリーの核心とも言うべき「奉仕の理念」とは、誤解を恐れずに言えば、「世のため人のために、自分に何が出来るのか」ということです。「他人を思いやる心」と言ってもいいかもしれません。

ロータリアンは、クラブ内で親睦をもとにして自己研鑽・切磋琢磨して奉仕の理念を学び奉仕の心を形成する。この内なる奉仕がクラブ奉仕であり、クラブの外では、奉仕の心を、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、そして青少年奉仕として実践する。これがロータリー活動です。

そしてロータリーを楽しもう 私たちは、誰しもが、自分の仕事を成功させ、家族を幸せにしようとする。でも、それだけでは何となく物足りないと感じます。世のため人のために役立ちたい、との願望を持ちます。社会との関わりの中での幸せも含むものである、その双方の意味での達成感、満足感を満たすことではじめて豊かな人生をおくれることを知っているのかも知れません。だからロータリアンになっているとも言えます。

奉仕という気高い志に基づく行為は、奉仕を受ける人たちに良い効果を与えますが、それ以上に奉仕をする側の者にも、幸福、喜びなど、人生で最良の価値を与えてくれるはず。つまり、利他の精神が自分の幸せにつながる、そして自分を活かす道であるということです。

私たちロータリアンは、そのような志を共有する仲間です。一歩進めて、相手の心に寄り添うメンタルヘルスに取り組んでみましょう。きっと貴方自身も癒やされるはず。世の中に、相手に、そして自分自身の中に、平和を取り戻しましょう。私たちが関わる全ての人を歓迎し、公平で、インクルーシブな環境を作りたい。

人びとの人生を豊かに、そして自分の人生を豊かにするために、ロータリーを楽しみましょう。

「ロータリー」は、時間も、距離も、人種も、言語も、宗教さえも、軽々と超えていける魔法のキーワードです。

ロータリーを語り合い楽しむ仲間を増やそう

ロータリーを語り合い楽しむことで、ロータリアンとしての活力が身につきます。活力あるロータリアンが多いクラブは、組織としての活力も増します。仲間になって欲しい人に、ロータリーをどのように説明するのか、ロータリーの魅力をどのように伝えるのか、その悩みの中にこそ、ロータリーを学ぶヒントがあるはず。大いに語り合みましょう。

既存会員、特に入会歴の浅い会員の退会をいかにして防ぐことができるのか、今こそ、その対策を真剣に考えてみましょう。ここでも、世界中の仲間のアイデア、最新情報がきっと役に立つはず。それぞれの最上川物語

国際ロータリー第2800地区の対象エリアは、山形県全域です。幸いにも、私たちの地区は行政単位と一致した非常にまとまりのある地区構成です。

<広き野を ながれゆけども 最上川 うみに入るまで にごらざりけり> 山形県民の歌「最上川」。この歌は、昭和天皇が皇太子でおられた大正14年に山形県に行啓されご覧になった最上川の様子を、その翌大正15年の歌会始においておよみになられたものです。

ふるさとの母なる川、最上川をステージにして、地区内全てのグループが一丸となって、環境をテーマにした事業を行いましょう。ロータリー奉仕デーの事業として地域社会に広報し、ロータリアンだけでなく、青少年を含む多くの地域の方々、パートナーの方々とともに汗を流し、最上川をとおして環境問題、そしてふるさとを考えてみましょう。



Rotary International District 2800
2023~2024
TAKAHATA ROTARY CLUB

7月20日



世界に希望を生み出そう

WEEKLY REPORT

会長 鈴木 司郎 幹事 高橋 雅明 例会 毎週木曜 12:30~13:30 旅館 エビスヤ 事務局 山形県高島町高島 911-2-2F tel 0238-52-5440 fax 52-5444

本日の例会 [2655 th] 2023. 7. 20

来訪 第2800地区 職業奉仕委員会
委員長 吉澤 彰浩 君

前回の例会 [2654 th] 2023. 7. 13

クラブ協議会
来訪 吉野 徹 第6グループガバナー補佐

- ・ 点鐘12時30分 鈴木 司郎 会長
- ・ ローターソング 四つのテスト
それこそロータリー
- ・ ソングリーダー 木村 健彦 君
- ・ S A A 木村 健彦 君

会長あいさつ

鈴木 司郎 会長

みなさんこんにちは。
まず初めに本日のゲストをご紹介します。
第6グループガバナー補佐の吉野 徹様です。
盛大な拍手をお願いいたします。

ガバナー補佐は米沢ロータリークラブ所属でお仕事は株式会社エービーエムの代表取締役会長を務められております。後ほどご講話をいただくことになっております。

さて、今年も九州地区をはじめ大雨による河川の氾濫、土砂崩れの災害が発生しております。被害に遭われました皆様にお見舞い申し上げます。

昨日の山形新聞に 2800地区 伊藤三之ガバナーが新任の挨拶で、山形メディアタワーを訪れた記事が載っておりました。「豊かで美しい最上川を未来へ引き継ぐため、環境をテーマとする事業に一丸となって取り組む」と述べられ、10月1日に最上川一斉清掃を展開すると説明されました。

当クラブも10月15日に実施する予定で計画しておりますので皆様のご協力よろしくお願いいたします。

例会終了後にクラブ協議会を開催いたします。各委員長の皆様には1年間の活動計画を発表していただきますのでよろしくお願いいたします。

それではごゆっくりとお食事をとお取りください。

《幹事報告》

高橋 雅明 幹事

- ・ 2023-24年度ガバナーエレクト事務所を地区事務所開設しました。

《委員会報告》

親睦活動委員会
山村 義美 副委員長

- ・ 8月10日に「納涼会」を開催します。
「ちゅうしん蔵」 18:30~
3名の新入会員を迎えての楽しい会を開催いたします。多くの方のご参加をお待ちいたします。

スマイルBOX

- ・ 吉野ガバナー補佐のご来訪に感謝します。会議等でよくご一緒します1年間よろしくお願いたします。

福島 悟 君

- ・ 入会して27・28年になります初の地区の仕事を務めます。

吉野 徹 AG

《出席報告》

会員数 44名 出席者数 20名 出席率 45.45 %
前回修正44名 出席者数 33名 出席率 75.00 %

《メーカーアップ》

大浦 英祐 様・高橋 正人 君・皆川 賢治 君
相田日出夫 君・大浦 英樹 君・梅津陽一郎 君
片平 琢朗 君

次回の例会 [2656 th] 2023. 7. 27

会員
草話 長谷川 平内 君